

気象庁の発表では、今年の日本の夏（2022年6～8月）の平均気温は顕著に高く、統計を開始した1898年以降、2010年に次いで2番目に気温が高い記録となったことが発表されました。新型コロナウイルス感染症に対応する生活も3年目に入り、夏のマスク生活に慣れてきたものの、例年とは違う暑さを感じた方も多かったのではないかと思います。

今回の新型コロナウイルス感染症のパンデミックで、人と人が直接接しコミュニケーションをとることで培われるもの磨かれるものがあることも気づかされますが、総説においては、これからの臨床検査技師養成により一層必要とされる医療技術者のコミュニケーション教育について執筆して頂きました。また、感染対策のため、通常とは違う教育体制や制限された学生生活が学生達にどのような影響をもたらすのだろうかと感じることも

多くあり、そのような学生の状況を調査された論文のほか、遠隔授業の配信に取り組みやすくするための工夫等、今号は長く続く世界的なパンデミックのなかで得られた教育現場の知見を掲載する内容となりました。また、このよう状況でも、先生方が取り組まれている国際交流や学会活動のほか、養成校のご紹介や書評もご執筆頂き、誠にありがとうございました。

2022年度より臨床検査技師養成新カリキュラムにも対応しなければならぬことが多くあり、ご尽力されていることと思います。次の時代を担う学生達が臨床検査技師の新しい未来を形創ることができるよう「臨床検査学教育」雑誌が貢献できればと考えております。会員の先生方には今後も変わらぬご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

（令和4年9月4日 編集副委員長 高田 智世）

一般社団法人日本臨床検査学教育協議会

日本臨床検査学教育学会 学術部

編集委員会(令和3年・4年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：齋藤良一(東京医科歯科大学)、副委員長：高田智世(愛媛県立医療技術大学)

委員：伊藤洋志(長浜バイオ大学)、大川龍之介(東京医科歯科大学)、岡山香里(群馬パース大学)、

岸井こずゑ(埼玉県立大学)、櫻井 進(東京工科大学)、杉本恵子(藤田医科大学)

関 貴行(日本医療科学大学)、多田達史(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京医科歯科大学)、

星 雅人(藤田医科大学)、松田和之(信州大学)、本木由香里(山口大学)

査読者(第14巻1・2号)：猪俣啓子、榎本みのり、大栗聖由、久保田亮、佐藤研吾、野坂大喜、

藤本和実、本木由香里

臨床検査学教育 第14巻 第2号

令和4年9月1日発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501